

## 2年ぶりの1年生を迎える会&遠足

### 【1年生を迎える会】

4月30日、1年生を全校で歓迎する「1年生を迎える会」が、運営委員会を中心に運動場で催されました。

まず、1年生は6年生と一緒に花のアーチをくぐった後、2年生から歓迎の言葉と「1年生になったら」を合唱してもらいました。そして、各学年からも1年生へのメッセージが送られました。その後は全校で学校に関する〇×クイズや校歌を歌いました。これら、子供たちを主体にした活動により、全校が同じ仲間としての意識をもてたと思います。



校長からは、集会と遠足ができる喜びを分かち合い、楽しんでほしいこと、1年生が少しずつ学校生活に慣れ、それを支えているのが6年生であることや2年生以上には1年生が困っていたら親切にしてあげてほしいことなどを話しました。

### 【歓迎遠足】

集会を終え、なごみの里運動公園へ向かいました。1年生は6年生と手をつなぎ、会話をしながら楽しそうに歩いていました。

到着後、公園内でドッジボールや鬼ごっこ、固定遊具などで遊びました。昼前には気温も上がり、Tシャツ一枚で遊ぶ子供も出てきました。そして、お楽しみのお弁当時間になると、各自が持ってきたシートに座って、お弁当をおいしそうに頬張りながら、みんな笑顔で思い思いの時間を過ごしました。



1日を通して、6年生は1年生のお世話をしっかりできていました。また、ほかの学年も与えられた役割を果たしていました。さらに、高学年は帰りも地区のリーダーとなってお世話をしてくれました。おかげで、誰一人事故に遭うことなく、楽しい遠足となりました。

## PTA 総会及び合同役員会 お疲れ様でした。

4月中旬から新型コロナウイルス感染者が再び拡大傾向にあったため、教室や廊下での密集がどうしても避けられない授業参観は中止にしました。参観を楽しみにされていた保護者の皆様には申し訳ありませんでした。しかし、PTA 総会は本部役員さんの交代や規約の改正などもあり、参加者を絞った上で実施していただきました。この会で、長年会長を務めていただいた樋口究さんから富永直美さんへバトンタッチが行われました。コロナ禍は続いています。富永新会長さんをはじめとして、子供たちの成長のため、できる範囲での交流や活動をしていただければと思います。どうぞよろしくお願いいたします。



## 昨年度と変わったこと（その2）



今年度から「GIGA スクール構想」に基づき、新しい端末を使った学習が始まります。「GIGA スクール構想」とは、多様な子供たちを誰一人取り残すことなく、一人一人に公正に個別最適化され、その資質・能力を一層確実に育成できる教育ICT環境を実現するという国の施策です。平たく言うと、児童生徒に一人1台の学習者用端末とクラス全員が一度にアクセスしても利用できる通信環境を整備し、学習に役立てるといことです。ちなみに、GIGA とは通信速度で使うギガビットではなく、「Global and innovation Gateway for All」の略です。



キーボードを裏返すとタブレットに

この施策により、本校も写真のようなタッチスクリーン対応のタブレット型PC（Google Chromebook）が、全校児童と指導者の数だけ配備されました。

これまでのWindows搭載のパソコンとは違い、Chrome OSを搭載し、教育機関向けソリューション「Google for Education」を使って学習します。また、作成したデータは本体ではなく、クラウドに保存されます。そのため、子供一人一人にアカウントが付与され、パスワードが必須となります。

さて、GIGA スクール構想が実現することで、どんなことが変わるのでしょうか？

### ○一斉学習

一人1台端末を使うことで、授業中でも一人一人の反応を教師が確認できる。子供たちの反応をふまえて、双方向型の一斉授業ができるようになる。

### ○個別学習

同時に別々の内容を学習することができるようになり、個々人の学習履歴を記録できる。（一人一人に必要な学習ができ、学習状況に応じて個別学習ができる。）

### ○協働学習

画面の共有などで一人一人の考えをお互いにリアルタイムで共有し、子供同士で双方向の意見交換ができるようになる。考えをすぐに共有して、多様な意見にもすぐに触れられる。

また、調べ学習で様々な情報を収集・整理・分析したり、推敲をしながら長文作成をしたり、写真・音声・動画を用いて多様な資料・作品作りに活かしたりすることもできるようになるでしょう。

しかし、実際の運用はこれからです。各教室にWi-Fi機器と充電保管庫が設置されましたが、現時点では運用マニュアルの整備ができておらず、PC本体の設定も完全にできていません。今後、教員がChromebookの使い方を理解し、使用にあたっての決まり事や機器の準備を整えてから稼働させたいと思います。

## 履き物を揃える

右の写真は、ある日の始業前のトイレの様子です。トイレ内で履くスリッパがいろんな方向に置かれています。

「履き物の脱ぎ方を見れば、その人の人間性がわかる」とも言います。確かにこれまでの経験からも、履き物の脱ぎ方が乱れている子供は、何かしらの問題を抱えていることがありました。小さなことではありますが、履き物を揃えることは、落ち着いた生活を送る上で、心の安定を図る上でも、意味のあることだと思います。次に使う人のことを考えて履きやすいように揃えることが、思いやりの心を育てることもつながるからです。

学級によっては、靴箱の靴が揃えられているか、毎日チェックを行っているところもあります。「靴の乱れは心の乱れ」・・・古くより伝えられていることは、どんな時代にも通じるという好例ではないかと思えます。

